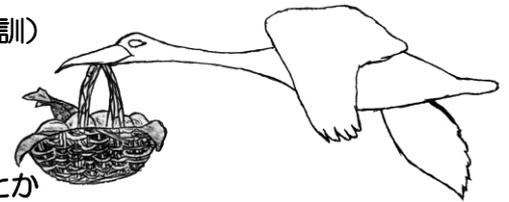




## 平和は分ち合いから

石原つや子

- 愛なき人生は暗黒なり、汗なき生活は墮落なり（中沢昌平 わが家の家訓）
- 小さな幸せを発見したら、沢山の幸せが集ってくる
- そして大きな感謝の波となる（つや子）
- かかわらなければこの愛しさを知るすべはなかった 人はかかわることからさまざまな思いを知る ああ何億の人がいようと、かかわらなくては路傍の人（ハンセン病と闘った詩人 塔和子）
- 私たち一人一人は平和の種を播く主人公、先の世代のために（つや子）



イラスト：大城旋律（孫）

☆平和は分ち合いから———辺野古行動の帰りに私達島ぐるみの仲間達 10 数人は高速のパーキングエリアにてコーヒータムを楽しみます。金武湾を囲むようにうるまの島々が一望できる絶景の地点です。私は一応自発的におやつ係をしていますが、その日は信州の友人から届いたブルーベリーを皆さんと分ち合いました。沖縄ではブルーベリーはなく、めったに頂けないものですから、皆さんとても喜んで下さいました。分ち合うことが出来て私は嬉しくて、一人喜び感動していました。その時、天からの声が聞こえたように思いました。「分ち合いは平和を生むんだよ、みんなみんな豊かになるんだよ」聖書に書かれている五千人のパンの奇跡の物語が鮮やかに思い出されました。たった5つのパンと2匹の魚しかなかったのにイエスさまが祝福し祈って分ち合ったら、五千人の人々が満腹し満たされたという奇跡物語です。初めて奇跡の意味がストーンと私の心に落ちてきたのです。そうなんだ！分ち合ったら、みんなが幸せになるのだ、平和は生れるのだ!! 自分だけの利益を求めて独りじめにする欲望は戦争へとつながることに気がついたのです。そして分ち合いから生れる感謝の思い、感謝でつながる人と人との絆が平和を生むのだと知らされました。「物が平等に分配されても感謝の心がなければ争いはなくなるらない。また広い知識があっても心が正しくないと真の平和の実現はない。」（阿波根昌鴻）

平和のキーワードは感謝の心、正しい心であることを教えられました。

☆分ち合いの政治———世界の国々は経済大国を目指して競争し、富=力を求めて覇権争いをしています。強大な富という力を持つれば必然的に軍事力拡大へと進んでいきます。そして死の商人の国となり戦争への危機を作り出していきます。こうしてグローバル経済社会の中で富は増々一極集中して世界の上位 10%が

◎50%(約 25 億人)の所得は全体の 8%、成人一人当たり年間 36 万円

◎上位 10%(約 5 億 1700 万人)の所得は全体の 52%、年間一人当たり 1123 万円

◎上位 1%(5100 万人)世界全体の 19%、一人当たり年間 4142 万円

世界の富は超富裕層に集中しているのです。子供でも分りますようにそんな莫大な富があるならその富を下へ(国民)へと流して分ち合い、福祉も教育も充実させて、みんなが幸せになれば一番いいですね。そして死の商人の国をやめて、平和な国家を作ることが出来るのです。然し、それは夢物語のようです。故安

倍さんは、アベノミクスを声高らかに叫び続け、富の分配、上から下への好循環、景気の回復、勇ましく絵空事をまくし立て我こそがこの日本の救世主であるかのごとく安倍人気を高め、国民を欺き続けました。その陰で企業優先、大企業への減税、政治と企業は癒着してさまざまな不正を生み出しました。規制緩和、公的インフラの民営化など政府の債務増加によって、公的資金を犠牲にした私的財産が増大し一極集中して億万長者は増々富を得ることになりました。富の流れは下(国民)へと向うことなく上に向かって流れ、富の分配は実現せず世界中に格差社会が進行して1億人が極度の貧困にあえいでいます。富の分配は資本主義社会での人類に課せられた最大の課題だと思います。人類は富=力(権力)を手放すことができるのでしょうか。深刻な気候変動などが人類生存の危機を告げています。阿波根昌鴻さんの言葉「世の中に善人がどんなに増えても資本家が権力を握っている間は戦争はなくなる、それは人類5千年の歴史が証明している。」富を手放し分ち合えるかどうかには人類の未来はかかっているのだと思います。五千人のパンの軌跡物語は、そのことを人類に問いかけています。人は一人では生きていけない、互いに癒し、癒され、互いに咲かし、咲かされてユイマールユイマール、命どう宝、分ち合いの喜びを、平和を、歌い続けましょう。

### PFAS（有機フッ素化合物）汚染

人の体は90%の水でできています。水は人の命そのものです。この命の水がPFASに汚染されていることが分かりました。2020年4月10日、普天間基地から大量の泡消火剤が露出して白い泡が町中に空中に舞い上がり川に流れ出しました。消防隊員がこの泡をバケツですくい上げタンクに回収する作業をする光景はあまりにも異様なものでした。何とこの原因は米軍によるバーベキューの不始末によることが分って唾然としました。米軍はやりたい放題!!随分昔から泡消火剤は沖縄の大地と水とを汚染し続けていたのです。昔から各集落に湧水があって人々の生活を潤し、農業用水としても使われてきました。然し、この湧水もPFASに汚染され使用禁止となってしまいました。嘉手納基地周辺の湧水(ガー)からは最高36倍が検出されました。PFASは人々の健康にも大きな影響を与えています。低体重児が最も多いのは沖縄です。他にも免疫機能の低下やさまざまなガン、甲状腺疾患など沢山あります。PFASに汚染された水や汚泥を農業に使用することで農作物も汚染され、広範囲の人々の命に影響を及ぼしています。PFAS問題は第二のダイオキシンとも言われ、今や米軍基地に限らず、日本全土に世界にと大きな環境問題として考えられるようになりました。PFASを含む便利な沢山の生活用品を当り前のように使っていた私達は、便利さと引き替えに環境を汚染し続けてきたことに気付いて、命の水を守るために方向転換をせまられています。宜野湾ちゅら水会では、沖縄のPFAS問題を国連で報告し訴えることが出来ました。7月26日の琉球新報によると、環境省は2025年以降、血液検査を全国規模で実施する方針を明らかにしたということです。全国各地の河川、地下水のPFAS汚染に政府も危機感を持って動き出したと思われます。水を沢山十分に飲む人は認知症になりにくいということが分ってきたといえます。汚染のない命の水を求めて私達は米軍基地と国の取り組みをしっかりと見張り、未来の子供達の生命を守るために声を上げていきたいと思います。

**◎地位協定の改定を求めます**——私達沖縄県民は戦後78年の現在までずっと日米地位協定の壁にはばまれて苦しんできました。やりたい放題の米軍に対していつも泣き寝入りです。日本政府には、アメリカと対等に交渉して沖縄県民を守ろうとする意志は全くないのです。アメリカへの従属国家、植民地化された国と言わざるを得ません。他の国々と比較しても日本だけが管理、立ち入り権なし、訓練の規制不可、航空

機事故捜索権の権利、行使なし、多くの日本人は「どうせ基地は沖縄に集中しているのだから関係ないよ！」と、沖縄は日本でないかのような他人事として無関心の空気が満ちているようです。大事なのは日米同盟、安保条約だと思っているのでしょうか。しかしPFAS問題も沖縄から発信して動き出した事実を考えて下さい！沖縄を無視したら日本の将来は危ないと思います。

☆気違い発言——塩川港での抗議行動の現場報告によると、ダンプの前を牛歩で抗議している私たちの仲間の一人に向けて防衛局の職員が「この気違いめ！」と言ったということです。気違いという言葉に私は強く反応しました。それは強烈な排除の言葉だからです。昔、子供の頃から大人の言葉の中に感じていた事でした。人と違った強烈な個性の人、性同一性障害の人、精神の病の人などを気違いという言葉でくくって排除していたのです。だから今、現在、この言葉を聞いて心が凍る思いでした。私たちはこうして自分と異なる人を差別し、排除しています。そして抗議行動する私達もまた、防衛局や警察の人の目からはきっと気違いに見えるのだらうと思います。それが本心なのだと思います。「人は違っていてもみんなよし、一人一人の個性と存在がそのままに認められ、受け入れられる社会を作っていきたいですね。かつてハンセン病の人々を排除し、精神の病の人を「気違い」と言って閉じ込めました。今の世も別の形でこの排除の言葉と行動が多くの子供達、若者達を自殺へと追い込んでいます。「そのままのあなたでいいですよ、神様は私たち一人一人をそのまま愛して下さっていることを私は伝えたいと思います。後日、私達は防衛局に対して（気違い発言）への抗議をしました。

☆かけがえのない一人一人——昔、子供の頃親から聞きました。この世界に何億の人がいても、同じ顔の人はいないと。子供心に、何億もの人がみんな違って、自分と同じ顔の人はいないんだ、自分は一人しかいないのだ、と。当然なことなのに子供の私は、どうして何億もの違った顔を作れるのだろうかと不思議でなりませんでした。そしてその答は「神様だから出来るんだよ」でした。そう思うと一人一人がどれほどかけがえのない存在であるかが分ります。だから排除していい人なんて一人もいないのです。「わたしはあなたと共に生きる、互に癒し癒され、互に咲かし咲かされて、青い星で光り輝く命なのです」

台湾有事——中国はウクライナの戦争を見えています。台湾を武力攻撃することは決して望まず、現状維持を望んでいると思います。では一体誰が台湾有事をあおり立てているのでしょうか。それは米国です。日本は米国の戦略に組み込まれ、中国脅威論にあおられて、安保3文書を決定、大軍拡、大増税へとアメリカに物言えぬ隷属国家となり果てています。アメリカは世界の覇者として、アメリカに対抗できる能力を持つ国の出現は許さないのです。全くもって恐ろしい国こそはアメリカです。今や、日米欧の軍隊が軍事演習を中国の近くで行っています。中国包囲網を築くという米の対中戦略です。中国は最近、日本からの魚介類の輸入や他の輸入品などにも福島の問題を理由にストップをかけたり、対抗処置を取るようになりました。これも米国追従の日本への圧力ではないかと思います。日中関係が貿易関係（経済相互関係）で悪化していくことは戦争へとつながるかも知れない危機をはらみます。私たちは台湾有事を絶対に起こさせないことを願って、二度と沖縄を戦場にしないために戦い続けます。

◎〈拡大抑止という考え方は軍拡競争の果てに破滅を招く。(ヤマヒデ)〉

◎ついにアメリカはウクライナにクラスター爆弾を供与、恐ろしいこの爆弾によって多くの市民の命が奪われます。戦争を拡大させるだけの武器供与をやめて一日も早く終戦の為の話し合いをしてほしいと願います。

### 〈うるま島ぐるみ便り〉

◎分ち合う私達——私達は常に分ち合う仲間です。Aさんはバナナ大使と呼ばれています。毎回畑のバナナをみんなに配って下さいます。リーダーのMさんは毎回、夫婦コーヒーを用意して下さい。私たちの心をホットにして下さい。うるまの島々の海、その岩場に沢山の天然ひじきが自生しているそうです。私はまだ見たことがありませんが、Aさんはびっくりする程の沢山の天然ひじき取りの名人!! 沢山分けて下さいます。感激!! 感謝の絆で結ばれて世界に羽ばたくうるまの仲間達です。

◎毎週金曜日夕方5時30分～6時30分まで広いうるま市の中心部と勝連半島の2カ所の十字路にて「ミサイル基地から住民の命を守る会」のスタンディングを続けています。私も歌いつつ訴えています。「ミサイル要らない、NO WAR、命どう宝」

◎月桃通信35号にて一つ欠落していた事があります。安和行動は時間が長いので、朝組と午後組に分れて活動しています。朝組の仲間は5～6名です。マイカーに分乗して行かれ、早朝7時～12時まで頑張っておられます。私たちはマイクロバスで10数人の午後組です。厳しく長い闘いの中では全員が共にマイクロバスでの行動が出来ないのは淋しいですが頑張っています。参加者減少の中では仕方ありません。

◎ミサイル写真展を各公民館巡回して続行しています。

◎21年9月から始まったていーあんだ便りは23号になりました。さまざまな人間模様や生の声が寄せられて、楽しみの便りとして一層みんなの絆を強くしてくれています。

◎長い沖縄の戦いを持続するためにはゆとりの心、楽しみの心が必要です。戦いの中で互に学び合い成長する私達は、弱いようで強い存在です。いつも微力であっても決して無力ではないと思っています。

◎高齢者の一言——公衆トイレにつかまる手すりがほしいです。

高齢者に優しい社会は平和を生む。(つや子)

◎生かされて弱きを恵みと知る二人かな。(つや子)

**辺野古基金のために** 引き続き御協力お願い致します。

○つながるかうつぐみの会 (大野悦子:福生市在住)

リサイクル着物からの作品: (\*大・小の手提げ袋\*マイバック\*洋服など)

○あみの会 (山田博子:うるま市在住)

リサイクル系の作品: (\*各種帽子\*アームカバー\*ルームシューズなど)

リサイクル着物、糸と不要になったセーターなどの提供と作品販売に御協力下さい。

**提供下さる方は必ずご連絡下さい。** 両窓口: 石原つや子

〈連絡先〉〒904-1115 うるま市石川伊波 1180-5 石原つや子

自宅: 098-964-3237 携帯: 090-4471-1942

Email: yuuwanoie@tg7.so-net.ne.jp

〈振込先〉 ゆうちょう銀行 記号: 12260 番号: 12650271 イシハラツヤコ

